

氏名	林 裕栄	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	老年看護学、在宅ケア学、地域看護学、家族看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	千葉大学看護学部看護学科卒業(看護学士)、埼玉大学 経済学部経済学研究科経済科学専攻(修士課程)修了(修士(経済学))、日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)修了(博士(看護学))				
経歴	1984年～埼玉県保健所勤務(5年間)、1989年～埼玉県立衛生短期大学助手・講師、埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師・准教授を経て、2014年～同大学看護学科教授				
所属学会(役職)	日本看護研究学会(査読委員)、日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本看護学会、日本地域看護学会、日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本老年看護学会、日本認知症ケア学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事:総務委員長)等				

【2019年度実績】

(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	精神科訪問看護のいろは「良き隣人」から「仲間」へ	共著	あり	精神看護出版、全207頁	横山恵子・藤田茂治・安部寛明編、岡田久美子・林 裕栄他15名	2019年7月
2	クエスチョン・バンク介護福祉士国家試験問題解説2020	共著	あり	メディック・メディア、579頁	青木宏心・林 裕栄他	2019年4月
3	クエスチョン・バンクケアマネ2020ケアマネジャー 試験問題解説	共著	あり	メディック・メディア、571頁	大口達也・林 裕栄他	2019年12月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	医療的ケアの必要な重症心身障害者を支援する介護職と協働する看護師の役割—介護職の経験に焦点を当てて—	共著	あり	保健医療福祉科学 9、pp7-14	吉田 隆俊、林 裕栄、関 美雪	2020年3月
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	埼玉県における精神科訪問看護を実施する訪問看護ステーションのケアの質向上のための実態調査(第一報)	共同	日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会、名古屋市	○矢山壮、藤田茂治、横山恵子、安部寛明、片山尚貴、川本裕一、居馬大祐、菅沼卓也、林 裕栄	2019年6月	
2	埼玉県における精神科訪問看護を実施する訪問看護ステーションのケアの質向上のための取り組みとネットワーク構築の評価(第二報)	共同	日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会、名古屋市	○林 裕栄、藤田茂治、横山恵子、安部寛明、生山佳寿美、居馬大祐、蔭山正子、片山尚貴、川本裕一、菅沼卓也、矢山壮	2019年6月	
3	地域ケアの充実を進める精神科事例検討会-事例提供者への効果と果たす役割	共同	第50回日本看護学会-精神看護-学術集会抄録集、福井市、p85	○横山 恵子・林 裕栄・藤田 茂治・生山佳寿美・安部 寛明	2019年8月	
4	訪問看護師として働き続けるための要因-新卒者等訪問看護師育成プログラム参加者への調査から-	共同	第50回日本看護学会-在宅看護-学術集会抄録集、宇都宮市、p132	○林 裕栄・武田美津代・三塩操・中島悦子・畔上光代・水間夏子・稲木あい	2019年9月	
5	訪問看護ステーション新採用者の活動と支援の現状	共同	第50回日本看護学会-ヘルスプロモーション-学術集会抄録集、長野市、p	○武田 美津代・林 裕栄・三塩操・中島悦子・畔上 光代・水間 夏子・稲木 あい	2019年9月	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	該当なし					
2						
3						

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	家族看護学	○	8コマ	独自に冊子を作成。視聴覚教材の利用を行った。加えて、講義中に個人ワークを行うことや、編入生から実践現場での家族看護の様子を語る場面を設けて講義にリアリティを増すように工夫した。
2	老年看護学Ⅰ		2コマ	老年看護分野の制度政策など新しい情報を取り入れるようにした。
3	認知症看護	○	8コマ	最新情報を取り入れることや模擬事例を提示し、PW、GWなどを組み込み、認知症のケアに関してのイメージづくりを図り、卒後の実践現場での活用ができるようにした。
4	老年看護学Ⅲ		8コマ	地域包括ケアシステムにおける看護職の役割等について教授した。
5	卒業研究		通年	学部学生2名を担当した。研究計画書作成、倫理委員会提出、調査の実施、論文作成の一連の基本的な研究プロセスを経験できるように教授した。
6	公衆衛生看護展開論Ⅰ		1コマ	精神疾患を抱えながら生活する人への支援 地域支援における看護職の役割について教授した。最新の国の動向を教授するとともに、写真や事例などを交えて学生が理解しやすいように工夫した。
7	大学院博士前期課程;地域ケア支援論	○	6コマ	地域保健福祉制度の変遷、医療提供体制や診療報酬・介護報酬の流れ、今日における地域ケアの動向と課題を教授した。
8	大学院博士前期課程;老年看護援助論		4コマ	超高齢社会の情勢に応じた高齢者理解のための援助方法について教授した。
9	女性と健康		2コマ	大妻女子大学短期大学部非常勤講師として前・後期各2回講義を行った。「メンタルヘルス」「精神疾患(統合失調症とうつ)」
10	大学院博士後期課程;臨床看護開発論		1コマ	生活環境支援に関するEBPIに基づく実践的な研究として、地域ケア支援論や老年看護援助論に関する研究論文を題材に、科学的根拠に基づいた看護実践の意義と検証方法について討議する。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅱ		15コマ	講義の一部を担うとともに、看護過程のGW、演習を担うことで、後期実習に向けて学生が準備ができるように助言した。
2	大学院:看護学演習(老年看護)	○	15コマ	研究計画書作成に向けて指導を実施した。
3				
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学実習Ⅰ		2019.4~2019.6	科目担当者として、2か所の老人福祉センターにて、2年次の学生が高齢者の対象特性を理解し、コミュニケーションがとれるよう指導した。また、施設および施設利用者と学生との懸け橋になるように努めた。
2	老年看護学実習Ⅱ		2019.10~2019.12	学生への学びが深まるように、特に施設職員と意見交換を密にして連携して支援した。また、学生にとって有効な学びが得られるように施設間の調整を行った。学習に課題のある学生への支援を行った。
3	総合実習		2019.4~2019.8	訪問看護ステーションの実習を行う学生の課題の達成に向けて、実習前のゼミの開催や施設との調整を行い事前に学習環境を整えるとともに、実習時においては効果的な学びが得られるように学生指導を行った。
4	IPW実習		2019.7~2019.10	IPW実習フォロー教員として一連の実習に関与した。新入教員および学部生6名に対して、IPWの目的・目標、プロセスにそって実習の円滑化を図れるようファシリテーションを実施した。また、ケアプランの作成においては、多職種連携を視野に入れた指導・助言を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4~2020.1	主指導	2名 副指導 1名
2	修士論文	2019.4~2020.1	主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 1名
3			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名

(5)その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	埼玉県立大学老年看護学実習Ⅱ指導者会議の開催	2020.2	障害学生支援研修会と指導者会議を合わせて行いことで、課題のある学生への支援についてともに学び合うことができた。実習指導者と実習の進捗状況、課題等を話し合った。	
2	高校説明会(学内・学外)2回	2019.6	県内の高等学校の教員に対して本学学生支援についての説明を行った。	
3	高等学校出張講座	2019.12	埼玉県立和光国際高等学校に出向き「在宅ケアの動向と看護の役割」について講義を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	新卒者等訪問看護師育成研修	埼玉県訪問看護ステーション協会	キャリアをデザインする、事例検討会(月1回)	2019年4月～2020年3月
2	令和元年度主任介護支援専門員研修	埼玉県介護支援専門員協会	講義及び演習「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」	2019年8月、10月、12月、2020年2月
3	令和元年度 介護支援専門員研修	埼玉県社会福祉協議会	講義「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践」	2019年7月
4	看護教員養成講習会 講師	埼玉県看護協会	専門領域別看護論演習(4時間の講義) 老年看護領域の成り立ちと枠組み、構造を教授した。	2019年6月
5	そらまめイト研修会	春日部市役所(20周年記念事業)	講演「健康でイキイキと過ごすために」	2019年9月
6	シルバーカレッジ	越谷市役所	講演「在宅ケアと訪問看護の役割」	2019年9月
7	専門職公開講座:精神訪問看護事例検討会	埼玉県立大学	精神科看護の事例検討会企画運営	2019年度年4回
8	埼玉県立大学一般公開講座	埼玉県立大学	精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク～私たちは何を体験したか～	2019年10月
9	看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会	埼玉県看護協会	シンポジウム座長「地域と病院をつなぐためそれぞれの立場から考えること」	2019年11月
10	人材開発センター開設1周年記念公開講座	株式会社ウイズネット	講演「在宅ケアの現状と今後の展望」	2019年12月
(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	越谷市役所	開発審査委員	2019年4月～現在	
2	もくせい家族会	評議員	2017年4月～現在	
3	埼玉県訪問看護ステーション協会	顧問	2016年4月～現在	
4	埼玉県訪問看護ステーション協会	新卒者等訪問看護師育成プログラム作成委員会	2015年4月～現在	
5	認知症者と家族の会	相談世話人	2003年4月～現在	
6	埼玉県保健医療部	埼玉県訪問看護推進検討委員会委員	2018年4月～現在	
7	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事(総務委員長)	2017年4月～現在	
8	採用と大学教育の未来に関する産学協議会	「今後の採用とインターンシップのあり方に関する分科会」委員	2019年3月～2020年3月	
9	日本アディクション看護学会	第18回日本アディクション看護学会学術集会実行委員	2019年6月	
10	埼玉県看護協会	看護師職能委員Ⅱ	2019年6月～現在	
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援センター長に伴う所掌業務(学生支援委員会、保健委員会、障害学生支援検討会、等)	2019年4月～2021年3月
2	大学広報活動	埼玉県立大学創立20周年記念事業実行委員会(広報部会長)	2017年4月～2020年3月
3	大学広報活動	高校出張講座、オープンキャンパス	
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	日本看護研究学会への投稿論文の査読		
2	埼玉県訪問看護ステーション協会の理事らとともに県内の既卒採用訪問看護師の育成に継続的にたずさわっている。		
3	草加市内「みんなの保健室陽だまり」メンバーとして、地域包括ケアを担う元気高齢者へのボランティアへの支援を行っている。加えて市内のNPO法人への支援も実施している。		